



回線グループの設定

回線グループの設定では、電話番号が選択される順序を指定します。Cisco CallManager は、コール分散アルゴリズムおよび Ring No Answer Reversion (RNAR) Timeout 設定に基づいて、回線グループのアイドルまたは対応可能状態のメンバーに対して、コールを分散します。

回線グループの追加または削除、回線グループへの電話番号の追加、回線グループからの電話番号の削除については、次のトピックを参照してください。

- [回線グループの検索 \(P.36-2\)](#)
- [回線グループの設定 \(P.36-3\)](#)
- [回線グループの設定値 \(P.36-4\)](#)
- [回線グループへのメンバーの追加 \(P.36-8\)](#)
- [回線グループからのメンバーの削除 \(P.36-9\)](#)
- [回線グループの削除 \(P.36-10\)](#)

回線グループの検索

ネットワーク内にはいくつかの回線グループが存在することがあるので、Cisco CallManager では、固有の基準を指定して、特定の回線グループを見つけることができます。回線グループを見つける手順は、次のとおりです。



(注) Cisco CallManager Administration では、ブラウザセッションでの作業中は、回線グループの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、回線グループの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 Call Routing > Route/Hunt > Line Group の順に選択します。

Find and List Line Groups ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 ドロップダウン リストボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- begins with (前方一致)
- contains (中間一致)
- is exactly (完全一致)
- ends with (後方一致)
- is empty (空白)
- is not empty (非空白)

ステップ 3 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、**Find** をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。



(注) データベースに登録されているすべての回線グループを検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックしてください。

検出された回線グループのリストが、回線グループ別に表示されます。



ヒント 検索結果内で回線グループを検索するには、**Search Within Results** チェックボックスをオンにし、この手順の説明に従って検索条件を入力します。



(注) 該当する回線グループの横にあるチェックボックスをオンにして、**Delete Selected** をクリックすると、Find and List Line Groups ウィンドウから複数の回線グループを削除できます。**Select All** をクリックして **Delete Selected** をクリックすると、ウィンドウ内のすべての回線グループを削除できます。

ステップ 4 レコードのリストから、検索条件と一致する回線グループをクリックします。

選択した回線グループがウィンドウに表示されます。

追加情報

P.36-11 の「関連項目」を参照してください。

回線グループの設定

回線グループを設定する手順は、次のとおりです。

始める前に

この手順を実行する場合は、事前に少なくとも 1 つの電話番号を指定しておく必要があります。

手順

ステップ 1 Call Routing > Route/Hunt > Line Group の順に選択します。

ステップ 2 次の作業のいずれかを実行します。

- 既存の回線グループをコピーするには、対象となる回線グループを見つけて (P.36-2 の「回線グループの検索」を参照)、コピーする回線グループの横にある **Copy** ボタンをクリックし、**ステップ 3** に進みます。
- 新しい回線グループを追加するには、**Add New** ボタンをクリックし、**ステップ 3** に進みます。
- 既存の回線グループを更新するには、対象となる回線グループを見つけて (P.36-2 の「回線グループの検索」を参照)、**ステップ 3** に進みます。

ステップ 3 表示される Line Group Configuration ウィンドウで、Line Group Name フィールドに名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。各回線グループ名が、そのルートプランに固有の名前であることを確認してください。



ワンポイント・アドバイス

回線グループには、内容を簡潔に表す名前を使用してください。通常、CompanynameLocationGroup の形式が、内容を簡潔に表し、回線グループをすばやくかつ簡単に識別できる方式です。たとえば、CiscoDallasAA1 は、Dallas にある Cisco オフィス用の Cisco Access Analog 回線グループを示します。

ステップ 4 適切な設定値を選択します (表 36-1 を参照)。

ステップ 5 Save をクリックして、この回線グループを追加または更新します。

追加情報

P.36-11 の「関連項目」を参照してください。

回線グループの設定値

表 36-1 では、回線グループの設定値について説明します。

表 36-1 回線グループの設定値

フィールド	説明
回線グループ情報	
Line Group Name	この回線グループの名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。各回線グループ名が、そのルートプランに固有の名前であることを確認してください。
RNA Reversion Timeout	コールの応答がない場合や、最初のハントオプション (<i>Try next member; then, try next group in Hunt List</i>) が選択されている場合に、この回線グループで次に対応可能またはアイドル状態のメンバー、または次の回線グループに対して、Cisco CallManager がコールの分散を開始するまでの時間を、秒単位で入力します。RNA Reversion Timeout は、回線グループレベルで、すべてのメンバーに適用されます。
Distribution Algorithm	ドロップダウン リスト ボックスで、回線グループ レベルで適用される次の分散アルゴリズムのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • Top Down : この分散アルゴリズムを選択すると、回線グループでアイドルまたは対応可能状態にある最初のメンバーから最後のメンバーまで、Cisco CallManager がメンバーに対してコールを分散します。 • Circular : この分散アルゴリズムを選択すると、Cisco CallManager は、アイドルまたは対応可能状態のメンバーに対するコールの分散を、回線グループの (n+1) 番目のメンバーから開始します。n 番目のメンバーは、Cisco CallManager が最後にコールを延長したメンバーです。n 番目のメンバーが、回線グループの最後のメンバーの場合、Cisco CallManager は回線グループの先頭からコールの分散を開始します。 • Longest Idle Time : この分散アルゴリズムを選択すると、回線グループでアイドル時間が最長のメンバーから最短のメンバーまで、Cisco CallManager がアイドル状態のメンバーだけにコールを分散します。 • Broadcast : この分散アルゴリズムを選択すると、Cisco CallManager は、回線グループでアイドルまたは対応可能状態のすべてのメンバーに対して、同時にコールを分散します。Broadcast 分散アルゴリズムを使用する場合のその他の制限事項については、Selected DN/Route Partition フィールドの説明にある注を参照してください。 <p>デフォルト値は、<i>Longest Idle Time</i> です。</p>


表 36-1 回線グループの設定値 (続き)

フィールド	説明
ハント オプション	
No Answer	<p>任意の分散アルゴリズムに対して、応答のない回線グループのメンバーにコールが分散されている場合に使用する Cisco CallManager のハント オプションを選択します。このオプションは、メンバー レベルで適用されます。ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Try next member; then, try next group in Hunt List: このハント オプションを選択すると、回線グループでアイドルまたは対応可能状態にある最初のメンバーから最後のメンバーまで、Cisco CallManager がメンバーに対してコールを分散します。分散に失敗した場合、Cisco CallManager はハント リスト内の次の回線グループに対して分散を試行します。 • Try next member, but do not go to next group: このハント オプションを選択すると、回線グループでアイドルまたは対応可能状態にある最初のメンバーから最後のメンバーまで、Cisco CallManager がメンバーに対してコールを分散します。現在の回線グループの最後のメンバーに到達すると、Cisco CallManager は分散を停止します。 • Skip remaining members, and go directly to next group: このハント オプションを選択すると、この回線グループの最初のメンバーに対する分散の試行時間が RNA reversion timeout の設定値を経過した場合、Cisco CallManager が残りのメンバーをスキップします。Cisco CallManager は、そのままハント リスト内の次の回線グループへと試行を継続します。 • Stop hunting: このハント オプションを選択すると、Cisco CallManager は、この回線グループの最初のメンバー、およびコールに応答しないメンバーに対してコールの分散を試行した後、ハントを停止します。
Busy	<p>任意の分散アルゴリズムに対して、ビジー状態の回線グループのメンバーにコールが分散されている場合に使用する Cisco CallManager のハント オプションを選択します。ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Try next member; then, try next group in Hunt List: このハント オプションを選択すると、回線グループでアイドルまたは対応可能状態にある最初のメンバーから最後のメンバーまで、Cisco CallManager がメンバーに対してコールを分散します。分散に失敗した場合、Cisco CallManager はハント リスト内の次の回線グループに対して分散を試行します。 • Try next member, but do not go to next group: このハント オプションを選択すると、回線グループでアイドルまたは対応可能状態にある最初のメンバーから最後のメンバーまで、Cisco CallManager がメンバーに対してコールを分散します。現在の回線グループの最後のメンバーに到達すると、Cisco CallManager は分散を停止します。 • Skip remaining members, and go directly to next group: このハント オプションを選択すると、ビジー状態のメンバーがいた場合、Cisco CallManager はこの回線グループの残りのメンバーをスキップします。Cisco CallManager は、そのままハント リスト内の次の回線グループへと試行を継続します。 • Stop hunting: このハント オプションを選択すると、Cisco CallManager は、この回線グループでビジー状態の最初のメンバーに対してコールの分散を試行した後、ハントを停止します。

表 36-1 回線グループの設定値 (続き)

フィールド	説明
Not Available	<p>任意の分散アルゴリズムに対して、対応可能状態ではない回線グループのメンバーにコールが分散されている場合に使用する Cisco CallManager のハント オプションを選択します。Not Available 状態が発生するのは、当該の DN に関連付けられている電話機が、すべて未登録である場合です。また、エクステンション モビリティを使用しているときに、DN またはユーザがログインしていない場合も Not Available になります。ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Try next member; then, try next group in Hunt List : このハント オプションを選択すると、回線グループでアイドルまたは対応可能状態にある最初のメンバーから最後のメンバーまで、Cisco CallManager がメンバーに対してコールを分散します。分散に失敗した場合、Cisco CallManager はハント リスト内の次の回線グループに対して分散を試行します。 • Try next member, but do not go to next group : このハント オプションを選択すると、回線グループでアイドルまたは対応可能状態にある最初のメンバーから最後のメンバーまで、Cisco CallManager がメンバーに対してコールを分散します。現在の回線グループの最後のメンバーに到達すると、Cisco CallManager は分散を停止します。 • Skip remaining members, and go directly to next group : このハント オプションを選択すると、対応可能状態にないメンバーがいた場合、Cisco CallManager はこの回線グループの残りのメンバーをスキップします。Cisco CallManager は、そのままハント リスト内の次の回線グループへと試行を継続します。 • Stop hunting : このハント オプションを選択すると、Cisco CallManager は、この回線グループで対応可能状態にない最初のメンバーに対してコールの分散を試行した後、ハントを停止します。
回線グループ メンバー情報	
電話番号を検索して回線グループへ追加	
Partition	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、この回線グループのルート パーティションを選択します。デフォルト値は、<None> です。</p> <p>Find をクリックすると、Available DN/Route Partition リスト ボックスに、選択されたパーティションに属する電話番号 (DN) がすべて表示されます。</p>
Directory Number Contains	<p>検索する電話番号に含まれる文字を入力し、Find ボタンをクリックします。入力した文字と一致する電話番号が Available DN/Route Partition ボックスに表示されます。</p>
Available DN/Route Partition	<p>Available DN/Route Partition リスト ボックスで電話番号を選択し、Add to Line Group をクリックして、その電話番号を Selected DN/Route Partition リスト ボックスに追加します。</p>

表 36-1 回線グループの設定値 (続き)

フィールド	説明
現在の回線グループメンバー	
Selected DN/Route Partition	<p>電話番号の優先順位を変更するには、Selected DN/Route Partition リストボックス内の電話番号を選択します。そのリストボックスの右側にある矢印をクリックして、リスト内でその電話番号を上下に移動させてください。</p> <p>Selected DN/Route Partition リストボックス内の電話番号の優先順位を逆転するには、Reverse Order of Selected DN/Route Partitions をクリックします。</p> <p>回線グループ内の電話番号の順序の詳細については、『Cisco CallManager システム ガイド』の「ルートプランの概説」を参照してください。</p>
	<p> (注) 共有回線の DN は、Broadcast 分散アルゴリズムを使用している回線グループには入れないでください。DN が、Broadcast 分散アルゴリズムを使用している回線グループのメンバーである場合、Cisco CallManager は、その DN が共有回線として設定されているデバイス上にある共有回線の DN を、すべて表示することができません。</p>
Removed DN/Route Partition (to be removed from Line Group when you click Save)	Selected DN/Route Partition リストボックスで電話番号を選択し、その電話番号を Removed DN/Route Partition リストボックスに追加します。これには、この2つのリストボックス間にある下矢印をクリックします。
電話番号	
(この回線グループに属している DN のリスト)	所定の電話番号の Directory Number Configuration ウィンドウに移動するには、このリスト内の電話番号をクリックします。

追加情報

P.36-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

回線グループへのメンバーの追加

新規または既存の回線グループに、メンバーを追加することができます。既存の回線グループにメンバーを追加する手順は、次のとおりです。

始める前に

この手順を実行する場合は、事前に少なくとも 1 つの電話番号を指定しておく必要があります。

手順

-
- ステップ 1** **Call Routing > Route/Hunt > Line Group** の順に選択します。
 - ステップ 2** メンバーを追加する先の回線グループを特定します。P.36-2 の「[回線グループの検索](#)」を参照してください。
 - ステップ 3** 電話番号を特定する必要がある場合は、**Partition** ドロップダウン リスト ボックスからルートパーティションを選択し、**Directory Number Contains** フィールドに検索文字列を入力して、**Find** をクリックします。パーティションに属する電話番号をすべて検索するには、**Directory Number Contains** フィールドをブランクのままにして、**Find** をクリックします。

Available DN/Route Partition リスト ボックスに、一致する電話番号のリストが表示されます。
 - ステップ 4** Available DN/Route Partition リスト ボックスで追加する電話番号を選択し、**Add to Line Group** をクリックして、その電話番号を **Selected DN/Route Partition** リスト ボックスへ移動します。この回線グループに追加する各メンバーに対して、この手順を繰り返します。
 - ステップ 5** Selected DN/Route Partition リスト ボックスで、新しい電話番号がこの回線グループ内でアクセスされる順序を選択します。順序を変更するには、電話番号をクリックしてから、リストボックスの右側にある上矢印または下矢印を使用して、電話番号を移動します。
 - ステップ 6** **Save** をクリックして、新しい電話番号を追加し、この回線グループの電話番号の順序を更新します。
-

追加情報

P.36-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

回線グループからのメンバーの削除

新規または既存の回線グループから、メンバーを削除することができます。既存の回線グループから電話番号を削除する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** Call Routing > Route/Hunt > Line Group の順に選択します。
 - ステップ 2** 削除する電話番号が入っている回線グループを特定します。P.36-2 の「回線グループの検索」を参照してください。
 - ステップ 3** Selected DN/Route Partition リスト ボックスで削除する電話番号を選択し、リスト ボックスの下にある下矢印をクリックして、Removed DN/Route Partition リスト ボックスへ電話番号を移動します。この回線グループから削除する各メンバーに対して、この手順を繰り返してください。
 - ステップ 4** メンバーを削除するには、**Save** をクリックします。
-

追加情報

P.36-11 の「関連項目」を参照してください。

回線グループの削除

回線グループを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

1 つまたは複数のルート/ハントリストが参照している回線グループは、削除することができません。回線グループを使用しているハントリストを検索するには、Line Group Configuration ウィンドウの Related Links ドロップダウンリストボックスにある **Dependency Records** を選択し、**Go** をクリックします。Dependency Records がシステムで使用可能でない場合、Dependency Records Summary ウィンドウにメッセージが表示されます。Dependency Records の詳細については、P.A-4 の「[Dependency Records へのアクセス](#)」を参照してください。使用されている回線グループを削除しようとすると、Cisco CallManager はエラーメッセージを表示します。現在使用中の回線グループを削除する場合は、事前に、次の作業を実行しておく必要があります。

- 回線グループを削除する前に、その回線グループが属しているすべてのハントリストから、その回線グループを削除する。P.34-8 の「[ルートリストからのルートグループの削除](#)」を参照してください。



ヒント

回線グループとハントパイロットを削除するには、まずハントパイロットを削除し、次にハントリストを削除して、最後に回線グループを削除します。

手順

- ステップ 1** Call Routing > Route/Hunt > Line Group の順に選択します。
- ステップ 2** 削除する回線グループを特定します。P.36-2 の「[回線グループの検索](#)」を参照してください。
- ステップ 3** 削除する回線グループの横にあるチェックボックスをオンにして、**Delete Selected** をクリックします。

回線グループを削除すると取り消せないことを警告するダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 4** 回線グループを削除するには、**OK** をクリックします。削除操作を取り消すには、**Cancel** をクリックします。**OK** をクリックすると、Cisco CallManager により、回線グループが削除されます。



(注) 該当する回線グループの横にあるチェックボックスをオンにして、**Delete Selected** をクリックすると、Find and List Line Groups ウィンドウから複数の回線グループを削除できます。**Select All** をクリックして **Delete Selected** をクリックすると、ウィンドウ内のすべての回線グループを削除できます。

追加情報

P.36-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

回線グループ

- [回線グループの検索 \(P.36-2\)](#)
- [回線グループの設定 \(P.36-3\)](#)
- [回線グループの設定値 \(P.36-4\)](#)
- [回線グループへのメンバーの追加 \(P.36-8\)](#)
- [回線グループからのメンバーの削除 \(P.36-9\)](#)
- [回線グループの削除 \(P.36-10\)](#)

ルート リストおよびルート グループ

- [ルート リストの追加 \(P.34-4\)](#)
- [ルート リストへのルート グループの追加 \(P.34-6\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「ルート プランの概要」

